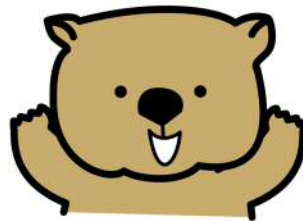


池田市環境学習

基本方針

イマジネーション & クリエイション

～人や地域の未来を想い(想像)、自ら行動(創造)しよう～

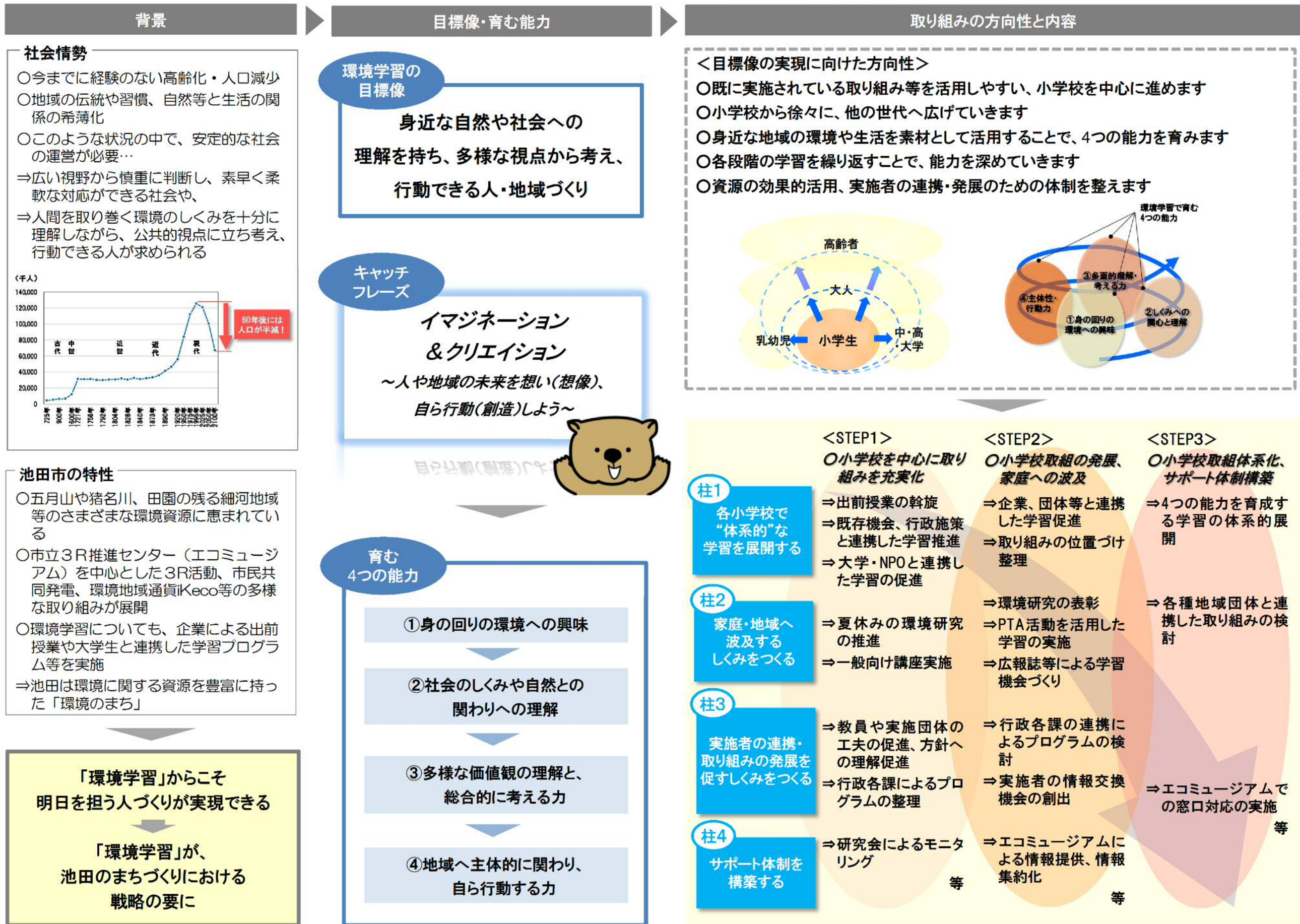


平成 27 年 3 月

池 田 市

池田市環境学習基本方針【骨子】

イマジネーション&クリエイション～人や地域の未来を想い(想像)、自ら行動(創造)しよう～



目 次

はじめに

1. 取り組みの背景・目的.....	1
2. 目標像と育む能力.....	2
2-1 めざす目標.....	2
2-2 キャッチフレーズ.....	2
2-3 育む能力.....	3
3. 取り組みの方向性と柱.....	5
3-1 目標像の実現に向けた方向性.....	5
3-2 計画年次.....	6
3-3 取り組みの柱.....	7
4. 池田市における取り組み.....	8
4-1 取り組みの展開イメージ.....	8
4-2 取り組みの実施イメージ.....	10
4-3 各取り組みの内容.....	11
4-3-1 Step1 の取り組み.....	11
4-3-2 Step2 の取り組み.....	24
4-3-3 Step3 の取り組み.....	31
5. 取り組みの実効性を高めるために.....	38
5-1 取り組みの目標設定.....	38
5-2 進捗管理の方法.....	39
5-3 財源の確保.....	40

はじめに

●本書のねらいと概要

本書は、池田市において環境学習を推進していくため、池田市、池田市教育委員会、各学校、地域団体・NPO、企業等の関係者が、ビジョンを共有し、連携して効果的・相乗的な取り組みを着実に進めていけるようにすることをねらいとしています。

そのため、

- ・関係者が念頭に置いてめざしていくべき池田市における目標像
- ・これを実現するためのよりどころとなる取り組みの方向性
- ・小学校を中心とした取り組みを支援し、学習を発展・波及させていくために必要となる施策

等を整理しています。

本書に基づき、池田市（環境部環境にやさしい課・教育委員会学校教育推進課等）では、学校、企業、地域団体、NPO、大学等関係者と連携しながら取り組みを進めていきます。

●策定の経緯

この方針は、「池田市環境保全審議会」および、学識経験者、学校教諭、地元企業、PTA、NPO、池田市教育委員会、池田市環境部等で構成される「池田市環境学習研究会」において、アンケート調査や先進地視察を実施しながら、意見交換を重ね検討・策定したものです。

▼検討の経緯

年月	内容
平成 25 年 8 月 23 日	平成 25 年度第 1 回池田市環境保全審議会 ・環境学習研究会の進め方について
平成 25 年 11 月 19 日	第 1 回池田市環境学習研究会 ・環境学習の効果や必要性等について
平成 26 年 1 月 21 日	第 2 回池田市環境学習研究会 ・先進地域（西宮市）視察
平成 26 年 2 月 3 日	第 3 回池田市環境学習研究会 ・教員へのアンケート結果、取り組みの方向性等について
平成 26 年 2 月 27 日	平成 25 年度第 2 回池田市環境保全審議会 ・環境学習推進事業の進捗と今後について
平成 26 年 7 月 28 日	第 4 回池田市環境学習研究会 ・目標像、必要な取り組み等について
平成 26 年 8 月 1 日	平成 26 年度第 1 回池田市環境保全審議会 ・環境学習推進事業の進捗と今後について
平成 26 年 9 月 3 日	第 5 回池田市環境学習研究会 ・出前授業事例集、取り組み方針等について
平成 26 年 10 月 10 日	いけだウォンバット塾（一般参加可能な職員研修） ・環境学習の重要性に関する講演、先進地域（西宮市、 気仙沼市）の事例報告等
平成 26 年 12 月 17 日	第 6 回池田市環境学習研究会 ・出前授業事例集、環境学習基本方針について
平成 27 年 1 月 30 日	平成 26 年度第 2 回池田市環境保全審議会 ・環境学習基本方針について
平成 27 年 2 月 25 日	第 7 回池田市環境学習研究会 ・環境学習基本方針について
平成 27 年 3 月 3 日	平成 26 年度第 3 回池田市環境保全審議会 ・環境学習基本方針について

▼池田市環境保全審議会委員

氏名	所属等(平成24年12月時点)
上岡 典子	京都造形芸術大学
土屋 正春(※)	滋賀県立大学
橋口 勝利	関西大学 政策創造学部
藤田 祥子	滋賀大学 池田市教育委員長
中堂 武賢	池田市工業振興会
福田 信雄(※)	(一社)池田青年会議所
新田 祥平	(一社)池田青年会議所
大原 初枝	池田商工会議所女性会
池野 正和(※)	池田市商工業青年会
佐々木 喜美	池田市公益活動促進協議会
若生 留美子	(特非)いけだエコスタッフ
笹部 雄作	樹木医
早川 昌任	池田市副市長

(平成24年12月26日から平成28年12月25日)

※は平成26年12月25日までの委員

▼池田市環境学習研究会会員

氏名	所属等(平成25年10月時点)
藤田 祥子	滋賀大学 池田市教育委員
中田 和彦	伏尾台小学校
渡辺 由佳	細河小学校
阪 晃一	池田市 教育部 学校教育推進課
田阪 佑樹	池田市 教育部 学校教育推進課
坂上 昭栄	池田小学校 PTA
濱 亮	渋谷中学校 PTA
小林 哲彦	産業技術総合研究所
橋口 勝利	関西大学 政策創造学部 ・環境出前授業実施者
小池 昭彦	(公財)安藤スポーツ・食文化振興財団 ・環境トップランナー事業者 ・環境学習事業実施者
長橋 貴	(株)伏尾の鮎茶屋 不死王閣 ・環境トップランナー事業者 ・環境出前授業協力企業
庄田 佳保里	(特非)いけだエコスタッフ ・環境学習事業実施者 ・エコミュージアム指定管理者
板谷 実	池田市 環境部

(平成25年10月15日から平成27年3月31日)

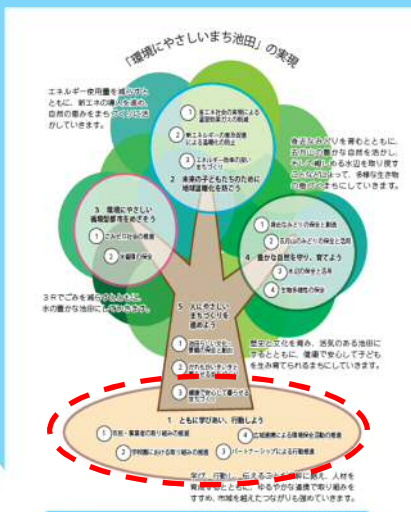
<本方針の位置づけ>

第6次池田市総合計画に基づき策定、推進されている「池田市新環境基本計画」では環境についてともに学び合うことで取り組みの土壌を創っていくこと、「池田市教育ビジョン」では環境を大切にする態度を育むことが、それぞれの重要な柱に位置づけられています。

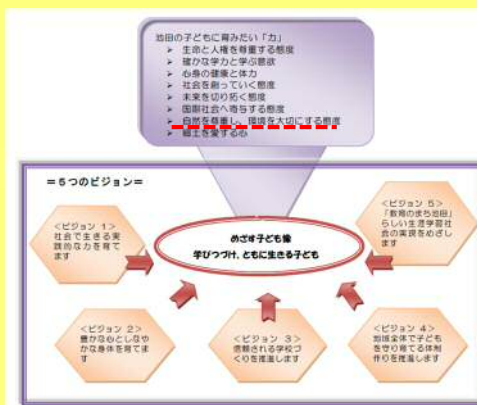
本方針は、これらの「環境学習」の目標や取り組み方針を具体化し、着実に推進していく役割を担っています。

第6次池田市総合計画(H22)

池田市
新環境基本計画(H22)



池田市
教育ビジョン(H24)



●池田市環境学習基本方針

- 関係者がめざしていくべき目標像
- これを実現するためによりどころとする取り組み方針
- 環境学習の推進方策

●方針の策定にあたって

いま、我々は、持続不可能性の世の中に生きています。例をあげると、近未来に確実に来ると予想されるものとしては、地球温暖化や日本における人口減少の問題があります。また突発的に訪れるものとしては、中東をはじめ各地で起こっている紛争や、まだ記憶に新しい東日本大震災などの災害があげられます。我々には、これらの将来起こり得る持続不可能性に対して対策を講じる必要性があります。そのひとつが、生きる力、生きる環境を創っていく力を育む環境学習であると考えます。

本市では、2011年に策定した新環境基本計画において、環境学習とパートナーシップによる環境保全の取り組みを基本に、重点的な環境施策を構築することとし、その最初の一步として、この「池田市環境学習基本方針」を策定いたしました。

本基本方針は環境学習を子どもたちから広げていくという方向性のもと、教員の方々を支援する相談窓口の設置や情報提供などを行うことで理念を共有し、既存の環境学習がより進化されていくことを期待するものです。また、環境学習の取り組みを活用して、事業者、NPO、コミュニティなど地域が元気になり、地域の方々が主体的に環境学習を支援いただけるしくみづくりを行って参りたいと考えています。みなさまの御理解と御協力をお願い申し上げます。

池田市長 小南修身

池田市環境保全審議会では、市長より諮問を受け、環境学習の全市的かつ持続的な推進のあり方について議論してきました。具体的な作業は、池田市環境学習研究会にお願いをし、研究会からの報告を受けて審議会でも議論を重ね、その成果として本方針の案がまとまりました。審議会では、倫理観や道徳観などの人間形成や、提案力や行動力などの問題解決能力を養うといった環境学習の目標のあり方、そのためにもオール池田、ワン池田での取り組みが必要になるといった意見が出されるなど、本方針の基本的な方向が示されました。行政としての大きな方針ができたことによって、環境学習が全市的にひろがり、持続的な取り組みとなるよう、また、そのためにも、地域一丸となって取り組みを支えるしくみが作られることを期待します。

池田市環境保全審議会

私たちは、2013年よりアンケートやヒアリング調査、先進地視察などを行いながら環境学習の重要性について議論を重ねて参りました。7回にわたる議論では、地域環境が人の成長に与える影響が大きいこと、持続可能な社会を作っていくために、将来を想像するイマジンレーションと具体的に行動し社会を作るクリエイション、それらを養う環境学習が重要であること、また、そのために環境だけでなく社会や経済の視点も必要であること、環境問題を解決するにはあらゆる教科の知識を総動員する必要があること、根本的には、ひとを慮る（おもんばかる）気持ちや、地域のことを考え、地域環境を保全することにつながり、そのような地域が増えることによって地球環境が良くなることにつながる、したがって道徳教育にも通ずるものであることなどを確認してきました。その理念が、この方針の根幹となっています。本方針の策定をきっかけとして、環境学習がもっともっと深まり、これからの社会を担う人材が、この池田から数多く輩出されることを期待します。

池田市環境学習研究会

1. 取り組みの背景・目的

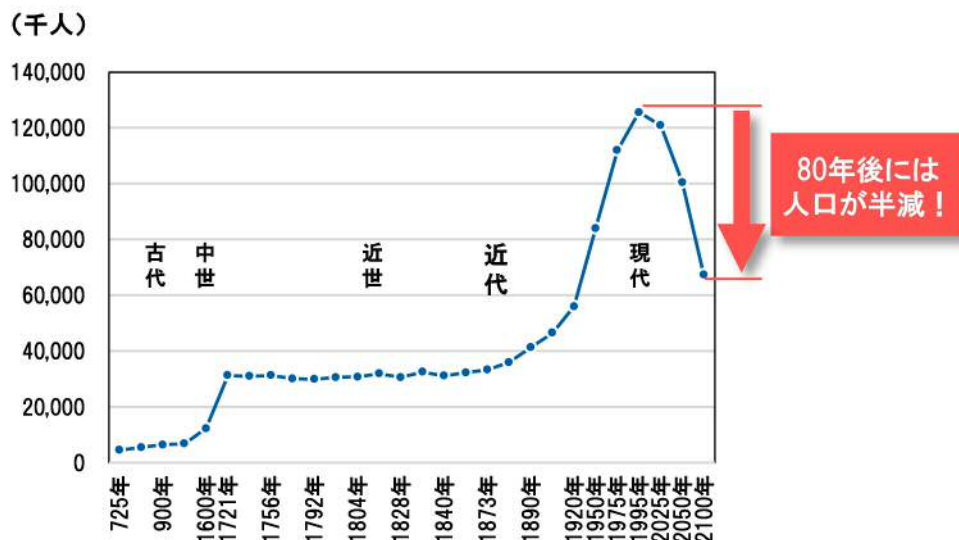
日本は今、近代以降の急激な人口増加が終焉し、今までに経験したことのない高齢化・人口減少社会を迎えています。同時に、経済の発展に伴う社会の変化により、地域の伝統や習慣、自然等と生活の関係が希薄化し、何が起ころのか予測しづらい状況も強まっています。

このような状況の中で安定的な社会を運営していくという前例のない課題を前に、広い視野からの慎重な判断に基づき、素早く柔軟な対応を行っていくことができる社会づくりが求められています。そのためには、人間を取り巻く地域社会や自然等の環境のしくみを十分に理解しながら、公共的視点に立って考え、行動できる人づくりが必要と考えられます。

一方で池田市は、五月山や猪名川、田園の残る細河地域等のさまざまな環境資源に恵まれています。環境施策に関しても、市立3R推進センター（エコミュージアム）を中心とした3R活動、市民共同発電、環境地域通貨 iKeco、サイクル&エコカーニバル等の市民向け啓発イベント等、さまざまな団体により多様な取り組みが展開されています。環境学習についても、共有された方針はありませんでしたが、企業による出前授業や大学生と連携した学習プログラム等が既に実施されており、池田市は環境に関する資源を豊富に持った「環境のまち」と言えます。

これらを踏まえ、これから社会が直面する課題に対応していくには、人間を取り巻く“広い意味での”環境について学び、考えを深め、行動力を養う「環境学習」が不可欠であり、また、環境に関する多様な資源や蓄積を持つ池田市では、「環境学習」からこそ明日を担う人づくりが実現できると考えます。

▼日本の人口推移



※鬼頭宏『人口から読む日本の歴史』（講談社学術文庫 2000年5月）を元に
 関西大学 橋口勝利准教授 作成



2. 目標像と育む能力

2-1 めざす目標

前項に示した社会的な要請に応えるために、社会を運営し子どもを教育していく立場の大人たちは、自らの活動が複雑な社会や自然にどのような影響を与えるかを慎重に考え、企業活動や家庭生活において望ましい行動や取り組みを実践することが必要です。

このような行動を実践できる人づくり、地域づくりを池田市における環境学習の目標とします。

環境学習の目標像

**身近な自然や社会への理解を持ち、
多様な視点から考え、行動できる人・地域づくり**

2-2 キャッチフレーズ

この目標像に基づき、キャッチフレーズを以下のように定めます。

イマジネーション&クリエイション

～人や地域の未来を想い(想像)、自ら行動(創造)しよう～



2-3 育む能力

前項の目標像を実現するためには、身の回りの自然や地域社会等の環境に興味を持つことから、身近な社会のしくみやそれらと自然との関わり等を理解し、さまざまな要素が複雑に絡み合う実社会において、多様な価値観を理解し、それらを踏まえ総合的に考えることを通じ、地域に主体的に関わり、自ら行動する力を醸成することが必要と考えます。

これを踏まえ、育む能力を以下に示します。

【環境学習で育む 4 つの能力】

①身の回りの環境への興味

②社会のしくみや自然との関わりへの理解

③多様な価値観の理解と、総合的に考える力

④地域へ主体的に関わり、自ら行動する力



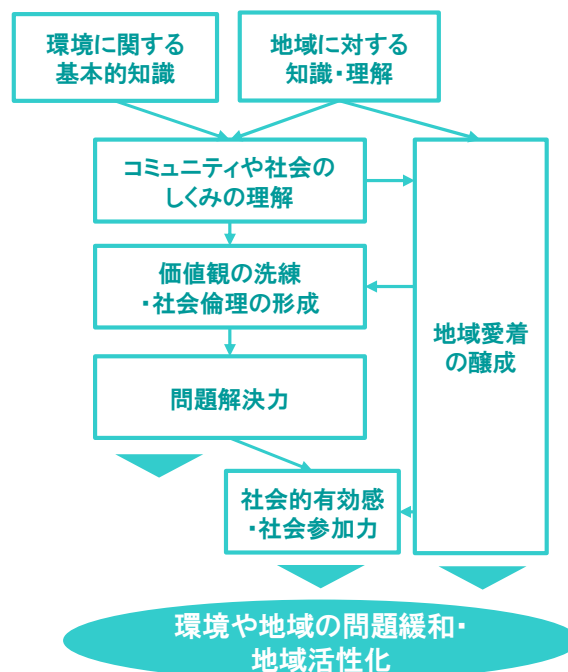
コラム① 環境学習のポテンシャル

池田市環境学習研究会において「環境学習の多様な効果」について交わされた、さまざまな意見を紹介します。

環境学習は、地域愛着の醸成や地域活性化にもつながる

- 環境に関する色々な知識を持っている方と手を繋ぐことで、**子どもたちが知らなかったつながり**や**自分ができること**を知ることができる。個別の授業はすぐに忘れるかもしれないが、繰り返し指導してスパイラルの中で深めていけばよい。
- プロセス重視の参加型学習により、子どもの**コミュニケーション力**や**提案力**が育つだけでなく、**地域・企業等のコミュニティ**が深まって**ふるさとへの愛着**がわき、将来地域を支える人材に育つことが期待できる。
- 大人になって地域で問題が起こったときに、この学習で習ったことを通じて**考え方や価値観を共有**できるとすれば、**社会の課題に立ち向かっていける力**もつくのではないかと思う。
- CO₂等の各要素に対しては色々な考え方があるが、結局は**1つしかない地球を大切にしていこう**といった**社会倫理的なもの**を、色んなプログラムを通じて養うことができるのではないか。

▼意見からイメージされる環境学習の効果





3. 取り組みの方向性と柱

3-1 目標像の実現に向けた方向性

環境学習で育む能力は大人が身に付けていくことが重要ですが、活用可能な学習機会の有無やその特性を勘案すると、子どもから取り組みを進めていくことが効果的と考えられます。

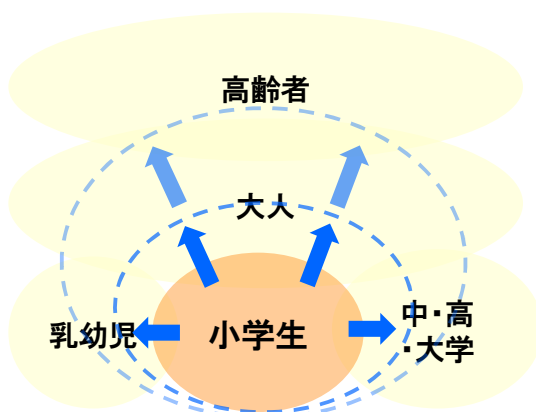
そのため、まず市内の小学校に通う児童を学習の主な対象とし、授業等の機会を環境学習の場として活用していくこととします。これにより、家庭や地域を通じた大人への学習の波及や、実施者が教えることを通じて自らの考えを深めていくといった循環の形成も可能となります。

これを踏まえ、広く市民の能力を育てていくため、以下のような方向性を持って取り組みを進めます。

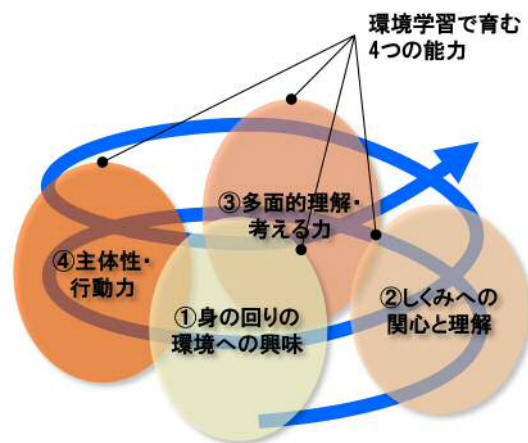
<目標像の実現に向けた方向性>

- 人間形成の重要な時期にあり、既に実施されている出前授業等の取り組みを活用しやすい小学校を中心に進めます。
- 家庭や地域のつながりを活かし、小学校からの取り組みを徐々に他の世代へ広げていきます。
- それぞれの学習は、知識学習だけではなく、身近な地域の環境や生活を素材として活用することで、4つの能力を育みます。
- 世代内・世代間で各段階の学習を繰り返すことで、4つの能力を深めていきます。
- さまざまな取り組みや資源を効果的に活用するとともに、学校や企業等の実施者が連携を深め、取り組みを発展させていくための体制を整えます。

▼小学生からの拡大のイメージ



▼学習の繰り返しのイメージ



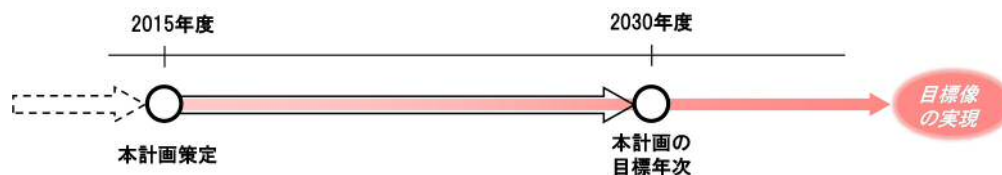


3-2 計画年次

本方針では上位計画である「池田市新環境基本計画」にあわせて 2030 年度に向けた取り組みの柱や実施イメージについて定めます。

なお、取り組みは継続的に実施状況や成果のチェックを行い、必要に応じて適宜、見直していきます。

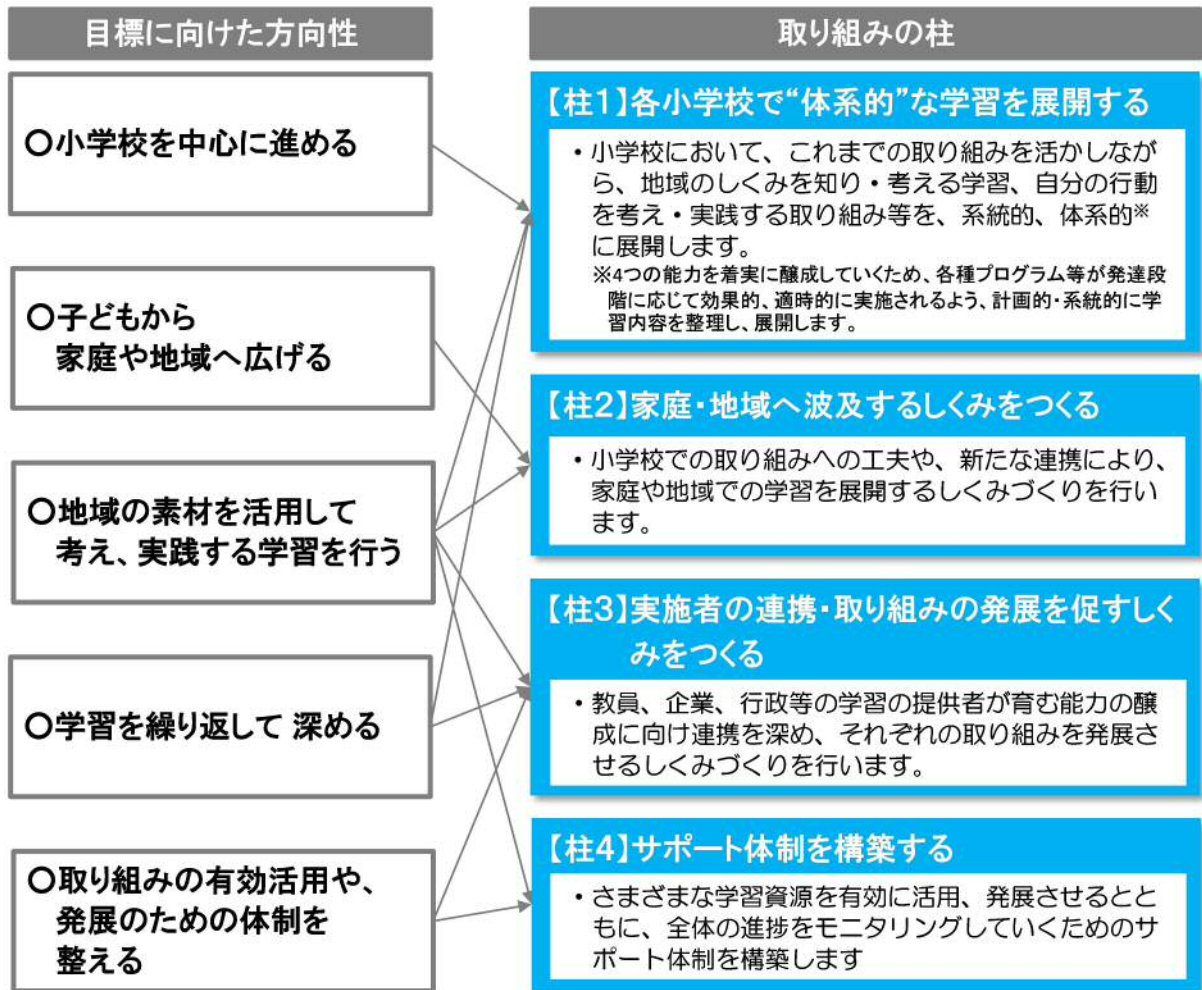
▼目標年次



3-3 取り組みの柱

取り組みの方向性を踏まえて、目標年次に向けて進めていく今後の取り組みの柱を以下に示します。

▼方向性を実現する取り組みの柱





4. 池田市における取り組み

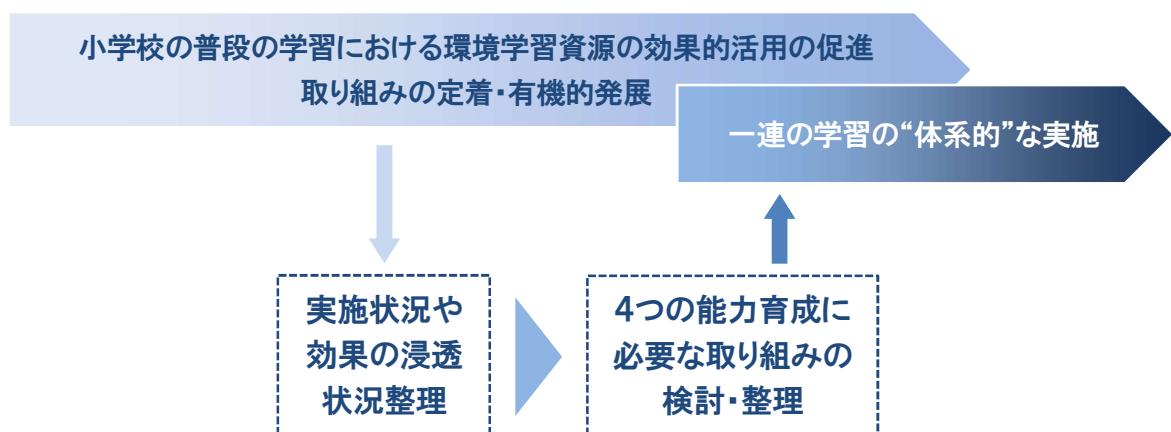
4-1 取り組みの展開イメージ

小学校での“体系的”な取り組みに向けては、まず、取り組みが単発的に終わってしまうのではなく、定着し有機的に発展していくよう、環境に関する既存の出前授業や学習資源が普段の学習の深化に効果的に活用されることを促す取り組みを行います。

これにより、環境学習の効果的な活用が一定程度浸透した段階で、4つの能力を発達段階に応じて育てていく上で、それぞれの取り組みが果たしている役割や不足している取り組み等について分析を行い、体系的な学習の展開に向けた取り組みを検討します。

これを整理・発信し、各学校での一連の取り組みの実施・展開を促します。

▼小学校での体系的な取り組みに向けた展開イメージ



あわせて、小学校での取り組みを軸にして、学習を徐々に親や家庭、地域へ波及させる取り組みも進め、定着させていくとともに、取り組み全体を支える体制について検討・試行しながら、持続的で効果的な取り組みサポート体制を構築します。

これを踏まえて、以下のような手順で取り組みが展開していくよう進めていきます。

▼取り組みの展開手順

Step1

- 既存の出前授業や地域資源、市の政策に関わる情報等の有効活用を促し、小学校を中心に取り組みの充実化を図ります。



Step2

- 学習実施者の工夫・向上を促しながら、小学校での取り組みのさらなる発展を図るとともに、学習を家庭・地域へ波及させる取り組みを進めます。
- また、取り組みのサポートのしくみを検討します。



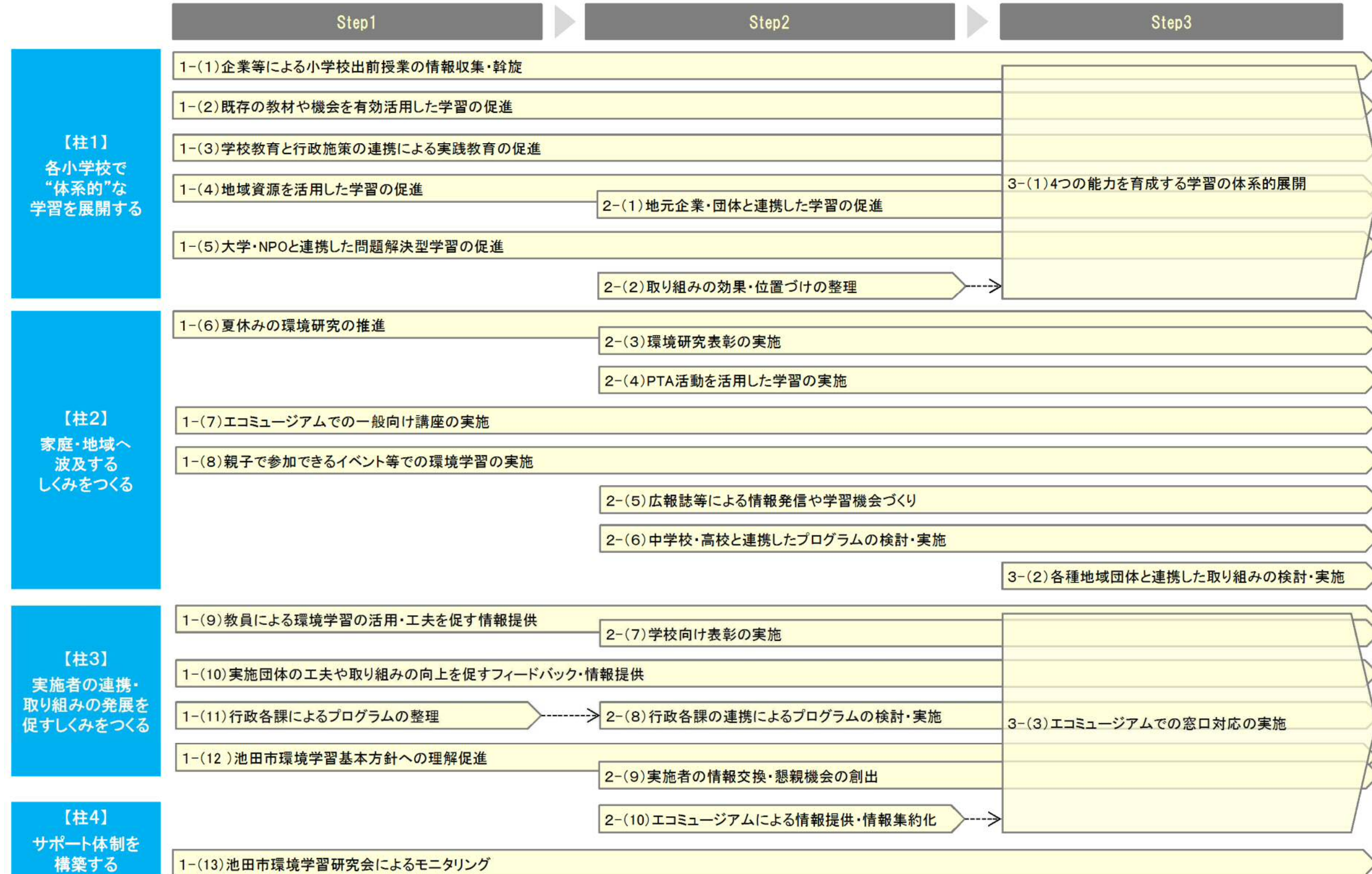
Step3

- 小学校での取り組みを体系化するとともに、家庭・地域での取り組みも定着させていきます。
- これらの市域の取り組み全体をサポートする体制を構築します。

4-2 取り組みの実施イメージ

前項のステップにあわせ、以下の施策を実施していきます。

▼ステップごとの施策イメージ





4-3 各取り組みの内容

4-3-1 Step1 の取り組み

(1) 企業等による小学校出前授業の情報収集・斡旋

STEP1

【柱1】
各小学校で
体系的学習

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- すべての小学校において、既存のプログラムを含め、環境に関する多様な出前授業が実施されている。
- 個別の出前授業の内容に対する興味や理解だけでなく、各教科単元や総合学習の理解を深める素材として有効に活用されている。

▼ 出前授業の様子(緑視率調査)



② 実現に向けた各者の取り組み

<企業・団体>

- 学校の希望に応じて出前授業を提供、実施します。
- 学校・教員の状況やニーズを把握し、できるだけプログラムの内容を調整、アレンジして実施します。

<池田市>

- 出前授業の情報等を収集し、単元や総合学習等での活用イメージがわかりやすい形で学校へ情報提供をします。
(学校向けサポート資料等の作成・提供)
- 学校の実施希望等を集約し、団体・企業との調整を行います。
(これらの役割は、順次エコミュージアムへ移管していくことを検討します。)

<小学校・教員>

- 年度当初に全体のスケジュールを踏まえて、単元学習の充実や総合学習の一部として活用できる出前授業の実施を検討します。
- 出前授業だけで終わるのではなく、これらを有効活用して単元学習、総合学習等を展開します。
- 実施した団体に対して、子どもや教員の感想をフィードバックします。



(2) 既存の教材や機会を有効活用した学習の促進

STEP1

【柱1】
各小学校で
体系的学習

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・「いけだかんきょうレポート」や各種統計データ、池田市内での環境活動の情報等、教育に活用可能な既存の資源、「環境ポスター展」等の環境について効果的な学習が可能な既存の機会を用い、学校行事の中で環境への理解や興味が深まる学習が無理なくタイムリーに実施されている。
- ・行政や地域団体等が保有する環境に関連のある素材やツールが学校に貸し出され、効果的な学習が実施されている。

▼いけだかんきょうレポート



▼エコミュージアムで貸し出している教材



② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・いけだかんきょうレポートや各種データ等について、活用事例やニーズ等を把握し、小学校で活用していただけるよう、アピール・情報提供を行います。
- ・エコミュージアム等と連携し、小学校等へ貸出可能な素材やツールを整理し、情報提供を行います。
- ・環境ポスター製作時等に活用できる学習素材を作成し、小学校へ提供します。

<小学校・教員>

- ・これらの資源やツールの活用方法を検討し、学習を行います。
- ・環境ポスター製作等のタイミングを活かして、効果的な学習を実施します。

<エコミュージアム>

- ・現在展開している3R活動等を通じて、環境学習に活用可能な素材やツールを収集・開発し、貸し出しを行います。

<企業・団体>

- ・製品や廃棄物等の事業活動で扱う素材から、環境学習に活用できるものをエコミュージアム等を通じて提供します。



(3) 学校教育と行政施策の連携による実践教育の促進

STEP1

**【柱1】
各小学校で
体系的学習**

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 関連単元の学習内容と地域社会とのつながりを持たせ、家庭にも学習・行動を波及させるため、関連性のある行政施策（生ごみ処理機への補助、リユース活動等）の情報や資料等が、単元学習の実例（補助教材等）として活用され、家庭で話題になり環境活動の実践につながっている。
- ・ 現在、学校で実施している天ぷら油回収等の活動では、その意味を理解・実感しながら、より積極的な参加につながるような学習が展開されている。

▼ 環境に関する施策例(生ごみ処理機補助)

生ごみ処理機の購入世帯に助成金

今年度も助成します、みんさんの「リサイクル」!

増え続けるごみとひっ迫する最終処分場の問題から、ごみの減量化やリサイクルがますます重要になっています。今年度も市では、「生ごみ処理機」を購入し、ごみの減量と資源化に取り組まれる世帯に購入費用の一部を助成します。

<対象>

- 購入して自宅に設置し、ごみの減量・資源化に取り組まれる市民
- 生ごみ処理機により出来た堆肥をごみとしないで、使える方
- 市税（市・府民税、固定資産税、軽自動車税）の滞納がない方

<対象となる機器>

- 家庭から出る生ごみを機械的に水分調整を行い、微生物や熱などで、減量または堆肥化する電気式生ごみ処理機
- 1世帯に1台（過去にこの助成を受けた世帯は対象外）

<助成額>

- 生ごみ処理機の購入費用（消費税を含む）の2分の1に相当する額（1,000円未満切り捨て）で、30,000円を限度とします。購入費用には、電気設備などの付帯設備の費用は含みません。

<必要書類>

- 領収証（生ごみ処理機の名前及び購入者の氏名が明記されているもの）
- 設置後の写真

<助成手続き>

- 購入後 30 日以内に、環境にやさしい欄にある申請用紙に記入、捺印のうえ、必要書類を添えて提出してください。

池田市 環境部 環境にやさしい課
Tel (754) 6240

② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・ 各単元で使用できる行政施策説明・学習ツールを作成、提供します。（補助教材、家庭向けチラシ等の作成・提供）

<小学校・教員>

- ・ 行政施策のツールを積極的に活用し、授業を実施します。
- ・ ツールを活用した活動やプログラムを検討します。

<家庭>

- ・ 子どもと一緒に行政施策の意味や家庭での取り組みについて考えます。



(4) 地域資源を活用した学習の促進

STEP1

【柱1】
各小学校で
体系的学習

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 地域の環境に関わる自然資源（学校の周りに生息する動植物、地形条件等）、社会文化資源（農業・産業活動、公共インフラ施設、地域のまちづくり活動等）を有効に活用して、関連単元の学習が効果的に実施されている。

▼ 地域資源マップの取り組み例(平塚市)



② 実現に向けた各者の取り組み

< 池田市 >

- ・ 地域と連携しながら、各教科単元等に活用できる資源の情報を収集し、小学校に分かりやすく紹介します。
(地域資源マップ等の作成・提供)

< 小学校・教員 >

- ・ それぞれの小学校等で活用できる素材を発掘し、活用方法を考えます。

< 企業・団体 >

- ・ 関連する地域の資源や事業活動について、学習に役立つ情報を提供したり、小学校のニーズに応じた学習素材や見学機会等の提供を検討します。



(5) 大学・NPO と連携した問題解決型学習の促進

STEP1

【柱1】
各小学校で
体系的学習

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- これまで実施している大学と NPO が連携した連続出前授業が継続的に実施されている。
- これまでに蓄積された知見から問題解決型学習のベースモデルが整理され、より多くの学校で、(高校生や地域等と連携しながら) 実施できる状態となっている。

▼ 大学 NPO が連携した出前授業の様子



② 実現に向けた各者の取り組み

<大学・NPO>

- 継続的に連続出前授業を検討、実施します。
- これまでの取り組みを整理し、問題解決型学習のベースモデルを整理します。

<小学校・教員>

- 連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討します。

<エコミュージアム>

- 連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討します。

<池田市>

- 連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討します。

<企業・団体>

- 取り組みの必要に応じて、学習素材や見学機会等の提供を検討します。



(6) 夏休みの環境研究の推進

STEP1

【柱2】
家庭・地域へ
波及

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・平成 26 年にエコミュージアムで実施された「自由研究・工作フェア」を継続、発展させ、夏休みの自由研究において、環境に関する取り組みや調査が実施されている。
- ・多くの地域団体や企業等が自由研究・工作フェア等へ出展し、相談対応等のサポートを行っている。

▼エコミュージアムの自由研究・工作フェア



② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・自由研究に関する実施状況を整理するとともに、家庭や学校の自由研究に対するニーズを把握します。
- ・エコミュージアム等と連携し、環境をテーマに自由研究を行う際に参考となる視点や資源等を整理し、学校や家庭に紹介します。
(自由研究サポート資料等の作成・提供)

<エコミュージアム>

- ・企業や団体等との連携を図りながら、自由研究・工作フェア等を継続的に実施します。
- ・サポート拠点として自由研究についての情報発信、アドバイスをを行います。

<企業・団体>

- ・自由研究・工作フェア等において、事業活動で扱う素材等を活用した講座の実施を検討します。

<小学校・教員>

- ・自由研究に関する情報を子ども・家庭に周知します。

<家庭>

- ・子どもと一緒に考え、実践します。



(7)エコミュージアムでの一般向け講座の実施

STEP1

【柱2】
家庭・地域へ
波及

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 時々の社会状況やニーズにあわせ、大人から子どもまでの実践に役立つとともに、スマートでお得なライフスタイルを知る取り組みとして、さまざまな講座が展開されている。

▼エコミュージアムの一般向け講座(天然素材のキッチン染め)



②実現に向けた各者の取り組み

<エコミュージアム>

- ニーズや社会情勢を反映して新たな取り組みを考えながら、継続的に講座を実施していきます。
- 企業や団体等と連携した、楽しくお得な講座等を検討します。

<企業・団体>

- エコミュージアムで実施する講座への事業活動で扱う素材の提供や、一般向け講座の実施について検討します。

<家庭>

- 講座に参加し、実践します。



(8)親子で参加できるイベント等での環境学習の実施

STEP1

【柱2】
家庭・地域へ
波及

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 市民向けのイベント等において、親子で環境について興味を持ち、楽しく学習ができる取り組みが実施されている。
- 実施した内容が、学校での学習や日常生活に活かされている。
(開催時期に学ぶ単元との関連、家庭でお得に使えるグッズや情報を有効に活用した取り組みの実施)

▼環境に関するイベントの例(サイクル&エコカーニバル)



②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 学校や教員とも連携しながら、イベント等で実施できる効果的な取り組みを検討します。

<企業・団体>

- 事業活動で扱う素材のイベントへの提供や、一般向け講座の実施について検討します。

<家庭>

- 子どもと一緒に参加し、環境について考えます。



(9) 教員による環境学習の活用・工夫を促す情報提供

STEP1

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 出前授業を実施した教員が、各教科単元や総合学習の理解を深める素材として出前授業を有効活用するため、前後の学習を独自に工夫して実施している。
- ・ クラスの状況にあわせてより効果的な学習とするため、教員が素材提供等のサポートを受けながら出前プログラムを実施したり、企業や団体等と協働しながら授業づくりが実施されている。

▼ 出前授業の結果を単元のまとめに活用した例



※3年生社会科の校区の学習に出前授業で算出した
緑視率の情報を活用

② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・ 教員が出前授業を有効活用できるよう、プログラムに関する情報や活用事例についての情報発信を行います。
- ・ 教科の各単元やその他の学習に関連した活動や業務を実施したり、情報を保有している行政部課や関係団体について整理し、可能なものについて相談窓口リスト等として情報提供します。
(学校向けサポート資料等の作成・提供)
- ・ NPO 等と連携し、これらの情報を活用した授業の実施方法等に関する教員向けの研修を実施します。

<小学校・教員>

- ・ 前後の授業内容を関連づけながら、出前授業や地域団体の情報等を有効に活用した単元学習、総合学習等を展開します。
- ・ より効果的な学習を実施するため、出前授業を踏まえたまとめの学習を独自に実施したり、他の出前授業と関連づけて一連の環境学習として展開していくことを検討します。

<企業・団体>

- ・ 学校の希望に応じて出前授業や素材を提供するとともに、可能な範囲で効果的な授業内容や学習方法について学校と一緒に検討します。



(10)実施団体の工夫や取り組みの向上を促す

フィードバック・情報提供

STEP1

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 出前授業等を実施する団体が、各学校で授業を実施する際、その学習がどの单元の中でどのような要素として位置づけられているかを理解しており、ニーズに応じてアレンジ等がなされている。
- 実施後には、出前授業を活用した教員や子どもの感想やアドバイス等が実施団体へ適切に伝わり、継続的な取り組みの改善につながっている。



②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 出前授業を実施する団体と、活用する教員との情報共有、コミュニケーションを促すツールを作成し活用します。
(出前授業への要望や感想を伝えるフォーマット等の作成・運用)

<企業・団体>

- 極力出前授業実施前に実施内容の打ち合わせや調整を実施します。
- 学校での出前授業の活用の考え方や位置づけ、教員のニーズを踏まえて、アレンジを検討します。
- 実施後の感想等を踏まえて、より有益な内容となるよう可能な範囲で改善を検討します。

<小学校・教員>

- 出前授業等実施時には、子どもの感想や、良かった点・悪かった点等を整理し、実施団体に伝えます。



(11) 行政各課によるプログラムの整理

STEP1

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 学校の地域特性や教員の要望等に対応して、池田市の色々な課が関わり多様な視点からの情報提供やサポート、出前講座等が実施されている。

▼ 池田市役所の組織

市長公室	総合政策部	総務部
市民生活部	環境部	福祉部
子ども・健康部	都市建設部	会計管理室
消防本部	上下水道部	市立池田病院
教育委員会事務局	行政委員会事務局	議会事務局

② 実現に向けた各者の取り組み

< 池田市 >

- 行政が既に実施している出前授業や授業に活用できそうな取り組み・資源を収集、整理し、環境学習として位置づけ、可能なものについて、企業等の出前授業とあわせて学校へ情報提供します。

< 小学校・教員 >

- 年度当初に全体のスケジュールを踏まえて、単元学習の充実や総合学習の一部として出前授業を活用することを検討します。



(12)池田市環境学習基本方針への理解促進

STEP1

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 出前授業等を活用、実施する、学校の教員、企業、地域団体、行政各課等が、池田市における環境学習の必要性や目的・方向性を理解し、必要に応じて取り組みのアレンジや改善を検討できる。



②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 教員、企業・団体に環境学習の目的や方向性を理解していただけるような情報提供を実施します。
(学校向けサポート資料、企業・団体向けサポート資料等の作成・提供)
- 環境学習の必要性や取り組み方法についての講習会・シンポジウム等を実施します。

<小学校・教員>

- 環境学習に取り組む際には、本方針に基づき、普段の学習への活用や取り組みの展開等を検討します。

<企業・団体>

- 環境学習を実施する際には、本方針に基づき、学校との情報共有を図るとともに、育む能力を意識して授業内容を検討します。



(13) 池田市環境学習研究会によるモニタリング

STEP1

【柱4】
サポート体制

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 平成 25 年度から組織されている「池田市環境学習研究会」が継続的に開催され、各取り組みの実施状況のモニタリング、改善策の検討等が実施されている。

▼池田市環境学習研究会の様子



② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 環境学習研究会を継続的に開催します。

<環境学習研究会>

- 方針に位置づけられた事項、その他について継続的に状況を把握します。
- これらの結果を踏まえて、より良い取り組みにするための方法を検討します。



4-3-2 Step2 の取り組み

(1) 地元企業・団体と連携した学習の促進

STEP2

【柱1】
各小学校で
体系的学習

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 企業や団体の活動内容や事業内容、保有資源等を活かした見学や体験型のプログラム等が各校区で実施されている。
- 学校と企業や団体の連携が強まり、多様な取り組みの発展につながっている。



②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 環境トッパー企業や学校、エコミュージアム等と連携し、モデルプログラムや資源の活用方法等を検討し、各地域へ展開していくための情報を整理・提供します。

<企業・団体>

- 小学校のニーズに応じて、現場見学の受け入れや事業活動の環境に関わる側面を活かした学習プログラムの開発・実施等を検討します。

<小学校・教員>

- 企業・団体と連携し、プログラム等を検討・活用します。



(2) 取り組みの効果・位置づけの整理

STEP2

【柱1】
各小学校で
体系的学習

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 小学校において、発達段階に応じて効果的に4つの能力を育成できる取り組みが展開されるよう、既存の取り組みの効果・特性や4つの能力に対する位置づけが整理されている。

▼ 育成する4つの能力



② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・ 既存の取り組みの内容や効果を把握し、4つの能力に対するそれぞれの特性の分析・整理を行います。
- ・ 発達段階と4つの能力に応じた既存の取り組みの体系や位置づけを整理し、小学校へ情報提供します。
(学校向けサポート資料の追加・提供)



(3)環境研究表彰の実施

STEP2

【柱2】
家庭・地域へ
波及

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 小学校の夏休みの自由研究において、環境に関する取り組みを増やし、質を上げていくため、理科教育展等と連携し、優秀な作品の表彰・PR等が実施されている。

▼理科教育展の様子



②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 環境に関する自由研究の取り組みについて、本方針の理念を踏まえた評価基準を設定し、優秀な作品を表彰・PRします。
- あわせて、環境をテーマにした取り組みが深まるよう、優秀な作品の特性やポイントの紹介、実際の行政施策との連携等について検討します。

<小学校・教員>

- 自由研究や表彰に関する情報を子ども・家庭に周知します。



(4) PTA 活動を活用した学習の実施

STEP2

【柱2】
家庭・地域へ
波及

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- PTA が関わって実施する授業や活動の機会を活用し、子どもが環境学習として学んでいる内容が親へ伝わり、一緒に考えてもらえるような取り組みの工夫や情報提供がされている。

②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 既存の PTA の活動に関連づけて実施できる取り組みの工夫や情報提供の内容について検討します。

<PTA>

- 実施できる取り組みや情報提供の内容を一緒に検討します。

<小学校・教員>

- 実施できる取り組みや情報提供の内容を一緒に検討します。

(5) 広報誌等による情報発信や学習機会づくり

STEP2

【柱2】
家庭・地域へ
波及

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 一般の大人が目にする広報誌等の媒体において、家庭で環境や地域について新たな気づきを得たり、実践につながる情報提供がされている。

②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 家庭で楽しく気軽に環境や地域のことを考え、行動できるような情報提供の内容について検討し、発信を行います。
- 小学校における出前授業の実施状況や自由研究のサポート情報、企業・団体の事業の情報等を活用した、相乗的な啓発効果を期待できる内容についても検討します。



(6) 中学校・高校と連携したプログラムの検討・実施

STEP2

【柱2】
家庭・地域へ
波及

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 中学校や高校においても、それぞれの教育課程や既存の活動等を踏まえた環境学習が検討・実施されている。

▼ 中学校での出前授業例



② 実現に向けた各者の取り組み

< 池田市 >

- ・ 既存の取り組みや中学校・高校の地域での活動状況等を踏まえ、負担なく効果的に実施できるプログラムや活動を検討します。
- ・ また、小学校での取り組みや大学・NPO が実施している取り組みと連携させた実践教育として展開することを検討します。

< 中学校・高校 >

- ・ 各取り組みの状況を踏まえて実施できるプログラムや活動を一緒に検討します。

(7) 学校向け表彰の実施

STEP2

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 小学校や教員が取り組みを積極的に進められるよう、効果的な学習・活動を実施した学校、学年等に対して、表彰や取り組みの支援(資金等)が実施されている。

② 実現に向けた各者の取り組み

< 池田市・環境学習研究会 >

- ・ 小学校での取り組みについて、本方針の理念を踏まえた評価基準を設定し、効果的な学習・活動を実施した学校、学年等を表彰します。
- ・ より積極的な活動を促すため、表彰とあわせて資金援助等の支援を行うしくみを検討します。

< 小学校・教員 >

- ・ 表彰や支援を活用しながら、より効果的な活動を検討します。



(8) 行政各課の連携によるプログラムの検討・実施

STEP2

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・池田市の各課が関わり、より幅広く多様な視点から、子どもや家庭が環境に対する考えを深められる学習が実施されている。

② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・各課が地域の環境を作る行政の仕事を子どもや市民に理解してもらおう視点から、既存の取り組みや資源を活かして、出前授業を検討・実施します。

<小学校・教員>

- ・年度当初に全体のスケジュールを踏まえて、単元学習の充実や総合学習の一部として出前授業を活用することを検討します。

(9) 実施者の情報交換・懇親機会の創出

STEP2

【柱3】
実施者・取組の
発展促進

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・教員や出前授業を実施する企業・団体の情報交換を支援したり、新たな連携をしていくための機会やプラットフォームが確保されている。

② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・既存の機会を活用し、教員や企業・団体が取り組み内容や課題等について報告したり議論することができる機会を作ります。
- ・上記の機会等を活かしながら、教員や企業・団体が連携した環境学習のプラットフォームづくりを支援します。

<小学校・教員>

- ・実施した学習内容や教科学習への関連づけ方、取り組みの発展のさせ方等について、他の教員や実施者と情報交換を行います。

<企業・団体>

- ・学校のニーズ等を踏まえた取り組みの実施例等について、他の実施者や教員と情報交換を行います。



(10)エコミュージアムによる情報提供・情報集約化

STEP2

【柱4】
サポート体制

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・ 小学校等が実施する出前授業やその他の環境学習に関する取り組みの情報がエコミュージアムに集約されて一元的に管理されている。

▼情報集約化のイメージ



- ・ ニーズにあったものを効率的に紹介
- ・ 課題や改善策等の知見を蓄積

②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・ 現在池田市が実施している年度初めの各小学校への出前授業の紹介、学校からの希望の受け付け、実施団体との連絡等の作業を順次、エコミュージアムに移管します。

<エコミュージアム>

- ・ 上記の作業をエコミュージアム内で実施できるよう、体制・施設等を整えます。
- ・ その他の環境学習に関する情報についても収集・集約しながら、情報を活かした効果的な取り組みの斡旋、改善提案等ができるよう、検討・準備を進めます。



4-3-3 Step3 の取り組み

(1) 4つの能力を育成する学習の体系的展開

STEP3

【柱1】
各小学校で
体系的学習

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・小学校において、発達段階に応じて4つの能力を育成できる取り組みが計画的・体系的に実施されている。

▼体系的展開のイメージ



- ・徐々に考えを深め、行動につなげる学習を実施

②実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- ・Step2で整理した既存の取り組みの位置づけを受け、4つの能力を育成する上で追加が必要な取り組み等を整理し、必要な学習や素材を検討します。
- ・これらの取り組みを体系的に実施するための基本的な考え方や展開モデルを整理し、情報提供します。
(学校向けサポート資料の改善・提供)

<小学校・教員>

- ・上記の学習内容や考え方、展開モデルについて一緒に検討します。
- ・考え方や展開モデルを踏まえた取り組みの実施を検討します。

<企業・団体>

- ・4つの能力を育成する上で追加が必要な取り組みについて、実施できる取り組みやプログラムを検討します。



(2) 各種地域団体と連携した取り組みの検討・実施

STEP3

【柱2】
家庭・地域へ
波及

① 将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- 各地域で、池田で活動する地域コミュニティ推進協議会やNPO等の各種地域団体等と小学校が連携し、実践的な環境学習やまちづくりの取り組みが実施されている。

▼ 各種地域団体と小学校の連携イメージ



② 実現に向けた各者の取り組み

<池田市>

- 小学校と連携可能な(連携することが望ましい)地域活動を抽出し、連携した学習活動やまちづくり活動を検討・支援します。

<地域コミュニティ推進協議会等の各種地域団体>

- 地域の小学生の行動力やアイデアを活かしたコミュニティ活動について、一緒に検討します。

<小学校・教員>

- 各種地域団体の持つフィールドや地域情報・人脈等を活かした学習活動について一緒に検討します。



(3)エコミュージアムでの窓口対応の実施

STEP3

【柱3】
実施者・取組の
発展促進【柱4】
サポート体制

①将来イメージ(取り組みを実施することによりめざす状況)

- ・エコミュージアムにおいて、環境学習を実施する小学校等に対する出前授業の斡旋・情報提供に加え、教員や実施団体からの相談に対するアドバイス等が行われ、さまざまな取り組みがエコミュージアムを通じて有機的・自立的に展開されている。

▼エコミュージアムの窓口対応のイメージ



②実現に向けた各者の取り組み

<エコミュージアム>

- ・集約化された情報を活かして、学校や実施団体にとってより有益なアドバイスができるよう、情報の整理・知見の蓄積を行います。

▼各者の取り組み内容

	取り組み	各者の取り組み					
		池田市	小学校・教員	企業・団体	エコミュージアム	家庭	その他
Step1	(1) 企業等による小学校出前授業の情報収集・輪旋	・単元や総合学習等での活用イメージがわかりやすい形で学校へ情報提供 (学校向けサポート資料等の作成・提供) ・学校の実施希望等を集約し、団体・企業と調整	・単元学習や総合学習に活用できる出前授業の実施を検討 ・出前授業を有効活用して単元学習、総合学習等を展開 ・実施団体へ子どもや教員の感想をフィードバック	・学校の希望に応じて出前授業を提供、実施 ・学校のニーズを把握し、授業内容を調整・アレンジ			
	(2) 既存の教材や機会を有効活用した学習の促進	・環境レポートや各種データ等について、小学校へアピール・情報提供 ・小学校等へ貸出可能な素材やツールを整理し、情報提供 ・環境ポスター製作時等に活用できる学習素材を小学校へ提供	・資源やツールの活用方法を検討	・事業活動で扱う素材から、環境学習に活用できるものを提供	・3R活動等を通じて、環境学習に活用可能な素材やツールを収集・開発		
	(3) 学校教育と行政施策の連携による実践教育の促進	・各単元で使用できる行政施策説明・学習ツールの資料を作成、提供	・行政施策のツールを積極的に活用し、授業を実施			・子どもと、行政施策の意味や家庭での取り組みについて考える	
	(4) 地域資源を活用した学習の促進	・各教科単元等に活用できる資源情報を収集、紹介 (地域資源マップ等の作成・提供)	・活用できる素材を発掘し、活用方法を考える	・地域資源や事業活動について、小学校のニーズに応じた情報、学習素材等の提供を検討			
	(5) 大学・NPOと連携した問題解決型学習の促進	・連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討	・連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討	・取り組みの必要に応じて、学習素材や見学機会等の提供を検討	・連続出前授業や、問題解決型学習のベースモデルを一緒に検討		<大学・NPO> ・継続的に連続出前授業を検討、実施 ・問題解決型学習のベースモデルを整理
	(6) 夏休みの環境研究の推進	・環境をテーマに自由研究を行う際に参考となる視点や資源等を整理、紹介	・情報を子ども・家庭に周知	・自由研究・工作フェア等において、講座の実施等を検討	・企業等と連携を図り、自由研究・工作フェア等を実施	・子どもと一緒に考え、実践	
	(7) エコミュージアムでの一般向け講座の実施			・事業活動で扱う素材の提供や、一般向け講座の実施を検討	・継続的に講座を実施、検討	・講座に参加、実践	
	(8) 親子で参加できるイベント等での環境学習の実施	・イベント等で実施できる効果的な取り組みを検討		・事業活動で扱う素材の提供や、一般向け講座の実施を検討		・子どもと参加し、環境について考える	
	(9) 教員による環境学習の活用・工夫を促す情報提供	・出前授業のプログラム情報や活用事例、各単元等に関連する行政部課や団体等の情報を整理、提供 (学校向けサポート資料等の作成・提供) ・出前授業活用方法等に関する研修を実施	・出前授業を有効に活用した単元学習、総合学習等を展開 ・出前授業を踏まえたまのみの学習、他の出前授業と関連付けた展開の検討	・学校に応じた出前授業や素材の提供 ・効果的な内容・方法を一緒に検討			
	(10) 実施団体の工夫や取り組みの向上を促すフィードバック・情報提供	・実施団体と教員との情報共有を促すツールを作成、活用	・子どもの感想や、良かった点・悪かった点等を実施団体に伝える	・実施前に内容の打ち合わせを実施 ・学校のニーズや感想を踏まえ、アレンジ、改善を検討			
	(11) 行政各課によるプログラムの整理	・既に実施している取り組み・資源を収集、整理し、可能なものについて学校へ情報提供	・単元学習の充実や総合学習の一部として出前授業の活用を検討				
	(12) 池田市環境学習基本方針への理解促進	・環境学習の目的や方向性が理解できる情報の提供 (学校向けサポート資料、企業・団体向けサポート資料等の作成・提供) ・講習会・シンポジウム等を実施	・本方針に基づいた学習、取り組みの展開等を検討	・本方針に基づき、学校との情報共有、育む能力を意識した授業内容を検討			
	(13) 池田市環境学習研究会によるモニタリング	・環境学習研究会を継続的に開催					<環境学習研究会> ・継続的に状況を把握 ・より良い取り組みにするための方法を検討
Step2	(1) 地元企業・団体と連携した学習の促進	・モデルプログラムや資源の活用方法を検討し、情報を整理・提供	・プログラム等を検討・活用	・現場見学の受け入れや事業活動を活かした学習プログラムの開発・実施等を検討			
	(2) 取り組みの効果・位置づけの整理	・既存取り組みの効果把握し、それぞれの特性の分析・整理 ・発達段階と4つの能力に応じた取り組みの位置づけを整理、情報提供 (学校向けサポート資料の追加・提供)					
	(3) 環境研究表彰の実施	・自由研究の優秀な作品を表彰・PR ・優秀作品のポイントの紹介、行政施策との連携等について検討	・自由研究や表彰に関する情報を子ども・家庭に周知				
	(4) PTA活動を活用した学習の実施	・PTAの活動に関連づけて実施できる工夫や情報提供を検討	・取り組みの内容を一緒に検討			<PTA> ・取り組みの内容を一緒に検討	
	(5) 広報誌等による情報発信や学習機会づくり	・家庭で楽しく気軽に環境や地域のことを考え、行動できる情報提供を検討し発信 ・出前授業の情報等を活用した、相乗的な啓発効果を期待できる内容について検討					
	(6) 中学校・高校と連携したプログラムの検討・実施	・負担なく効果的に実施できるプログラムや活動を検討 ・小学校や大学・NPOが実施している取り組みと連携させた展開を検討				<中学校・高校> ・プログラムや活動を一緒に検討	
	(7) 学校向け表彰の実施	・効果的な学習・活動を実施した学校、学年等を表彰 ・表彰とあわせて資金援助等の支援を行う仕組みを検討	・表彰や支援を活用しながら、より効果的な活動を検討			<環境学習研究会> ・効果的な学習・活動を実施した学校、学年等を表彰 ・表彰とあわせて資金援助等の支援を行う仕組みを検討	
	(8) 行政各課の連携によるプログラムの検討・実施	・既存の取り組みや資源を活かした、出前授業の検討・実施を促進	・単元学習の充実や総合学習の一部として出前授業の活用を検討				
	(9) 実施者の情報交換・懇親機会の創出	・教員や企業・団体取り組みや課題等について報告、議論できる機会を作る ・環境学習のプラットフォームづくりを支援	・実施した内容や教科学習への関連づけ方等について、他の教員や実施者と情報交換を行う	・学校のニーズ等を踏まえた取り組みの実施例等について、他の実施者や教員と情報交換を行う			
	(10) エコミュージアムによる情報提供・情報集約化	・各小学校への出前授業の紹介等の作業をエコミュージアムに移管			・エコミュージアム内で実施できるよう、体制・施設等を整える ・その他の情報収集、情報を活かした改善提案の検討等		
Step3	(1) 4つの能力を育成する学習の体系的展開	・4つの能力を育成する上で追加が必要な学習や素材を検討 ・取り組みを体系的に展開するための考え方を整理し、情報提供 (学校向けサポート資料の改善・提供)	・学習内容や考え方、展開モデルを一緒に検討 ・展開モデルを踏まえた実施を検討	・4つの能力を育成する上で追加が必要な取り組みについて検討			
	(2) 各種地域団体と連携した取り組みの検討・実施	・連携可能な各種地域団体の活動を抽出し、学習活動を検討・支援	・各種地域団体の持つフィールドや地域情報等を活かした学習活動を検討			<地域コミュニティ推進協議会等の各種地域団体> ・小学生の行動力やアイデアを活かした活動を検討	
	(3) エコミュージアムでの窓口対応の実施				・学校等へ有益なアドバイスができるよう、情報整理・知見蓄積		



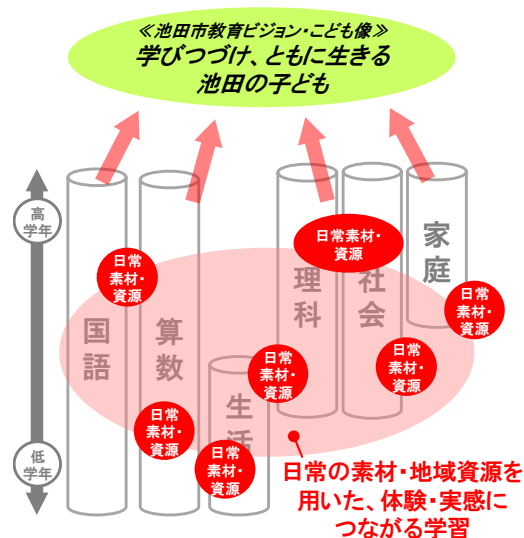
コラム② 環境学習と小学校教育の関係

池田市環境学習研究会において、「環境学習と小学校教育の関係」について交わされたさまざまな意見を紹介します。

環境学習は、教科学習を活用・総動員して取り組む実践学習

- 環境は、1つの問題が多岐にわたり、複合的につながっている**横断的な分野**である。教科を超えた学びの広がりについて、小学生から学ぶことも必要。
- 全ての教科の知識を総動員して取り組むのが環境問題**。解釈を広げて教科で勉強したことが「**どんなことに活かせるか実感、体験できる学習**」としても良い。
- 日本の恵まれた環境でも**日常を少し意識するだけで**十分環境に関心を持てる。
- 環境を考える上で重要なのは**他人を想う心を持つこと**である。他人のことを想いながら自分たちの地域を良くするためにどうしていくかを学んでほしい。
- 地域資源等を活用する環境学習は**生きる力を考える総合学習のための切り口**である、といった位置づけも可能。
- 学校の独自性も尊重する必要があるため全校で一斉に行うことは難しいが、まずはこのような**環境の広い概念を教員や子どもに伝えていく**ことが必要。子どもには発達段階に応じて徐々に浸透させていくことも必要。

▼環境学習のイメージ





コラム③ 日常生活に浸透した取り組み事例

先進的な環境学習の取り組みを展開されている西宮市の事例を紹介します。

市民活動から、日常から環境への気づきを促す環境学習へ発展

西宮市は山、川、海等との自然環境に恵まれた住宅都市ですが、これまで豊かな自然環境が残されてきたのは、開発事業への反対運動等を通じて**市民や事業者の環境保全活動**が活発に行われてきたことによります。

平成 15 年にはこれらを発展させ、すべての人が協働により環境学習を通じた持続的なまちづくりを進めていくことを目標とした「**環境学習都市宣言**」も行われています。

これらに基づいて**日常生活から環境への気づきを促す**ことを基本に、市民が環境にやさしい行動を行ってスタンプを集める「**エコカード**」活動や、小学校区ごとの「**エココミュニティ会議**」による環境まちづくり活動を始めたこと、多様な取り組みが進められています。

「エコカード」は、小学生を中心とした市民が環境にやさしい行動（協力店で環境にやさしい商品を購入する等）を行ってスタンプを集める活動で、多く集めると「アースレンジャー」に認定されます。**日ごろの行動と環境の結び付きの「気づき」を、スタンプを押す人と押してもらう人が共有**することをねらいとしたものです。

西宮市には約 9 万人の小学生がいますが、昨年度はその約 20%がアースレンジャーに認定されるほど取り組みが浸透しています。

▼エコカード・市民活動カード





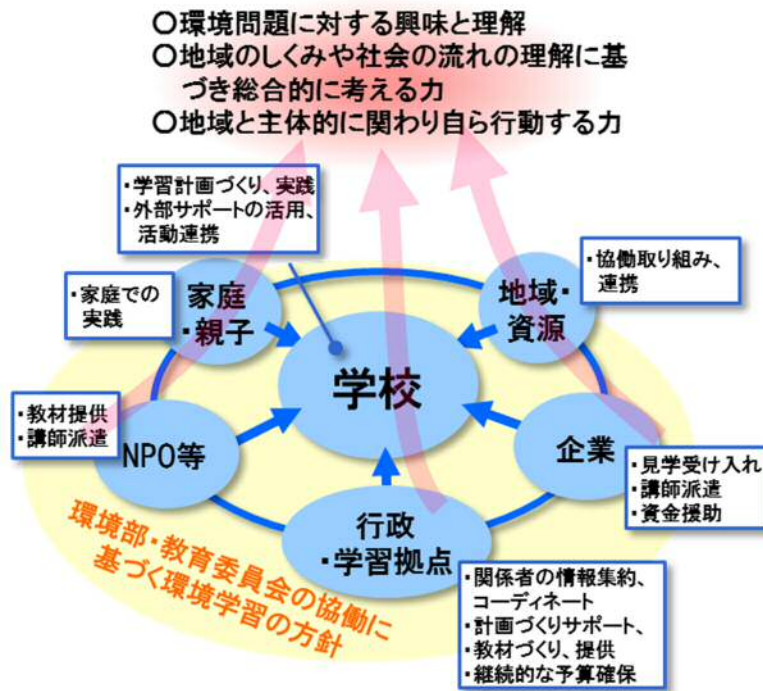
コラム④ サポート体制の必要性

池田市環境学習研究会において、「取り組みを支えるしくみ」について交わされた、さまざまな意見を紹介します。

みんなで支えるしくみ・拠点が必要

- 学習の進め方や活用できる出前授業、素材等の相談拠点がほしい。
- 関係者の誰かが先走ったり、ひとり頑張っても効果的に進まない。継続のためにも **みんなで支えていくしくみ**が重要である。
- 行政が先頭に立たなければオール池田で進めるのは難しい。環境部・教育委員会が連携し、**市の大きな方針を示す**必要がある。

▼イメージされる各機関の役割や連携





5. 取り組みの実効性を高めるために

5-1 取り組みの目標設定

取り組み方針に対応した取り組みが進み、それらの効果が発現されているかを評価していく必要があります。

そのため以下を目標として設定し、評価していきます。

▼目標の設定

取り組みの柱	目標指標	達成目標 (2030年)
【柱1】 各小学校で “体系的”な 学習を展開する	複数の時間・単元を活用した 環境学習の実施数	3回/学年
【柱2】 家庭・地域へ 波及する しくみをつくる	PTA や各種地域団体と連携した実践活動数	1件/校
	一般向け講座・プログラム実施数、参加者数 (エコミュージアム、イベント等)	10回/年 300人/年
【柱3】 実施者の連携・ 取り組みの発展を 促すしくみをつくる	教員向け研修会の実施回数	1回/年
	実施者向け講習会、情報交換会等の実施回数	1回/年
【柱4】 サポート体制を 構築する	環境学習に関する相談対応学年数	30件/年
	環境学習研究会の開催数	1回/年



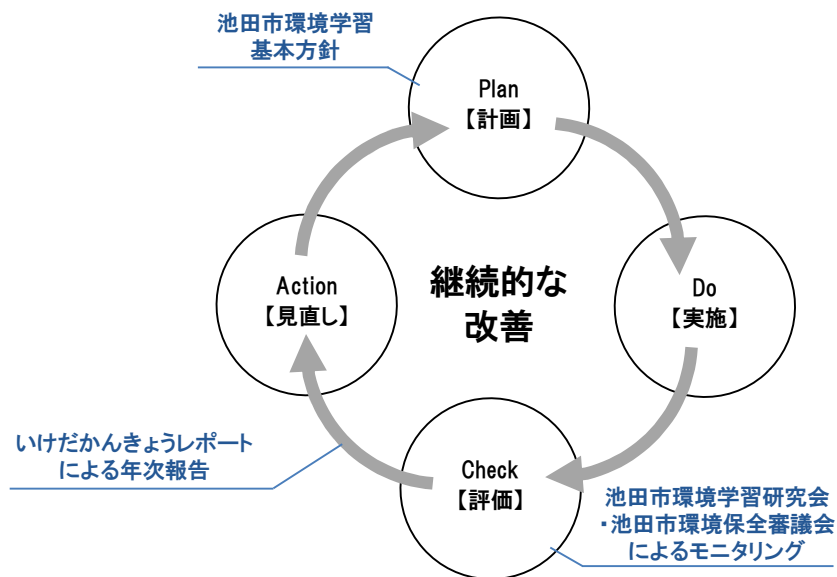
5-2 進捗管理の方法

前項の管理目標に基づき、「池田市環境学習研究会」や「池田市環境保全審議会」において、実施状況の評価、モニタリングを継続的に実施します。

また、毎年発行している「いけだかんきょうレポート」においても、実施状況や課題を整理し、実施状況を市民へ報告します。

これらの評価結果から、PDCA の考え方に基づき、必要に応じて各ステップの取り組みや、それぞれの実施内容を見直していきます。

▼PDCA サイクルによる見直しのイメージ





5-3 財源の確保

全市的、持続的に環境学習が実施されるよう、基盤整備や取り組みの充実・発展に向けた継続的な財源の確保に努めます。

〈基盤整備、取り組みの充実・発展に向けた事業例〉

- ・学習拠点の機能充実
- ・地域が協力して環境学習を支援できるしくみづくり
- ・情報の収集、整理等の基礎的な調査および研究ならびに研修
- ・各種ツールの作成および更新
- ・情報発信および交流事業
- ・環境活動を実践できる機会の提供（参画、提案できる社会的事業など）
- ・各種取り組み助成および顕彰

池田市環境学習基本方針

平成 27 年 3 月発行

池田市環境部環境にやさしい課

池田市教育委員会

〒563-8666 大阪府池田市城南 1-1-1

Tel 072-752-1111

<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>